

## 令和3年度予算概算要求

第53回日本薬剤師会学術大会は10月10日、11日の両日、札幌市で開催されました。台風14号の影響で西日本から東日本の広い範囲で降雨となりましたが、開催地は好天に恵まれ、昼間は比較的暖かな日和となりました。今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、現地での参加者を制限しウェブでの配信を併用する初の試みとなりました。会場には約1700人が訪れ、約4000人がウェブを通じて参加したとのこと。初めての経験で多少のトラブルもあったようですが、政府が社会のデジタル化の推進を掲げる状況において、今後の大会等の参考になるものと思われま

さて、令和3年度予算概算要求は9月末に各省庁から財務省に提出されました。今回は新型コロナウイルス感染症の影響により、概算要求の段階では予算額を決めず、基本的に要求額は対前年度同額とし、新型コロナウイルス感染症への対応等の緊急な経費については別途要望することができるとする、財務省の方針に従い、各省とも予算額を定めない事項のみの要求が多く盛り込まれています。一般会計の要求・要望総額は105兆円を超えていますが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、来年度予算がさらに膨らむ可能性もあり、政府内の調整に関心が寄せられることとなります。

厚生労働省の一般会計要求総額は、前年度の当初予算に比べて34億円増の32兆9895億円、このうち医療・介護・年金等の社会保障に係わる経費は、前年度当初予算と同額の30兆8562億円となっています。この他、新型コロナウイルスのワクチン・治療薬の研究開発支援、PCR検査・抗原検査等の戦略的・計画的な実施体制の構築、検査体制の充実等、ウィズ・ポストコロナ時代を踏まえた、保健・医療・介護・雇用対策費の多くが事項のみの要求となっています。また、年金・医療等の高齢化に伴う経費の自然増、社会保障の充実等の平年度化に伴う増加分の取扱いについては、予算編成過程で検討するとしています。

薬剤師・薬局の関連では、オンライン資格確認等システムを基盤とした電子処方箋の令和4年度運用開始に向けて、システム構築とともに全国の医療機関・薬局等への周知を図る事業費として、38億円を新規に要求しています。また、薬剤業務でのICTの活用や高度化する薬物療法への対応等、薬剤師の資質向上に向けた研修に係わる検討事業、薬剤師の地域偏在等に対応するための調査事業等も新規に要求しています。

薬剤師・薬局に係わる事業費をはじめ、感染症対策、社会保障関連の予算確保に努めて参りたいと思います。